



んだじゅ通信



Vol.8

Contents

1. 新年のあいさつ
2. 形成外科の紹介
3. 医療連携懇談会の報告
4. 感染制御チームの紹介
5. 認定看護師活動報告
6. がん患者サロンの紹介
7. インフォメーション

山形県立新庄病院地域医療部

TEL: 0233-22-5525 (代表)

FAX: 0233-28-7277 (直通)

平成28年1月発行

んだじゅ一言

「インフルエンザ・ノロウイルス

感染予防の基礎は手洗い!」

「んだ~じゅ」

1. 新年のあいさつ

山形県立新庄病院長 八戸 茂美

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、皆様には当院運営に対し大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

院長就任一年目、より地域に開かれた病院にするべく職員一同努力してまいりました。地域住民の皆様にご理解を深めていただくために、昨年10月に初めて開催した「新庄病院健康まつり」が盛況のうちに終了したことは、皆様の御支援の賜物と深く感謝しております。

昨年の世相を表す漢字は「安」とのことですが、医療界における「安」と言えば「医療安全」に係る「医療事故調査制度」発足に尽きるかと思えます。昨年10月1日に開始され、12月1日には「山形県医療安全支援協議会」が設立されました。当院でも医療安全対策を更に推進させるとともに、よりいっそう質の高い医療を提供していくことを銘記したところです。

さて今年は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、各都道府県が打ち出す「地域医療構想」に基づき、二次医療圏ごとの目指すべき医療提供体制等についての議論が加速化されます。最上地域の基幹病院として急性期医





療を堅持していくことが当院の使命ではありますが、超高齢社会を迎え介護需要が極めて高くなった今、慢性期疾患への手厚い看護も重要と考え、国及び県が進める「地域包括ケアシステム」の構築には積極的に協力していきます。また、「新庄病院改築整備検討委員会」は1月で第3回を数え、地域の意見を反映した意見書が取りまとめられます。これを踏まえ、県では平成28年度以降に基本構想を策定いたします。申すまでも無く、それらの構想を支えるのは医師、看護師を含むメディカルスタッフです。医師確保対策としては、大学医局との連携を更に強化しつつ、「民間医局」Webサイトを活用して公募します。また、新専門医制度に向けた総合診療医プログラムの作成を着実に進めます。人材の確保・育成について、これまで以上に積極的な取り組みを行っていきます。

『健院』という言葉をご存知でしょうか。病院建築計画学の第一人者、長澤泰先生が述べております。『20世紀の病院はその名の通り「病」の館だったのかと考え、21世紀には健康に関与する建築「健院」にすべきであると確信しました』と。共感しました。環境創りはハードの完成まで待つ必要はありません。「人」という得難いソフトさえあれば、明日からでも『健院』なる環境が提供できる気がしますし、その努力をすべきだと思います。

ますますの病院機能分化と在宅医療の推進が求められる今日、地域の皆様には、より一層の連携を結ばれんことを切にお願いする次第です。





2. 形成外科の紹介

形成外科 手術部副部長 岡田厚夫

当院形成外科は、昨年4月で常勤化10年を迎えた新しい科です。現在は常勤医2人体制での診療を行っています。外来は月・水・金曜日午前が基本となります。山形県内に常勤形成外科医のいる総合病院はまだまだ少数（5カ所程度）で、最上地域でも入院診療可能なのは当院のみとなります。



「形成外科って何を診療する科なの？」という疑問を持たれる方も多と思います。実は、これを説明するのは非常に難しいのです。これは、形成外科が比較的新しい科で、他の外科系各科の対応できなかった様々な疾患を治療（主には手術）する側面があるからだと考えます。

形成外科の基本技術として、細かいものを縫う、時には顕微鏡を用いて細い血管を縫うというようなものがあります。この技術を元に体全体へ応用を利かせ、顔のできものができるだけ傷跡がめだたないように切除縫合する、手指などの切断事故に対して顕微鏡手術により修復する再接着手術（ただし必ず生着するわけではありません）等の作業を行っています。あとは、透析の内シャント作成、耳鼻科や外科の腫瘍切除時の組織欠損に対する再建（頭頸部再建 乳房再建など）のような、少し裏方的性格をもつ仕事も行っています。再接着手術や再建手術は大変時間のかかるもので、夜通し行っていることもあります。翌日の診療で疲れた顔つきをしていることもあるかもしれませんが、お許してください。

そんなこんなで、他の科のやらないことを紹介いただいたりしていろいろやっております。そんななかでも、お気軽に受診していただいたらと思う疾患として、切除したら邪魔にならずすっきりしそうな体表のできもの、まぶたが垂れて視野が悪くてテープで留めているなどのまぶたの悩み、は手術で改善できることが多いです。

なお、加齢性のしみや入れ墨の除去、二重まぶたの作成などの美容医療は保険診療外となり、当科では治療ができません。



当科は、東北大学病院形成外科の関連施設であり、適宜連絡をとって紹介や人材交流、勉強会などを行っています。

3. 医療連携懇談会の報告

地域医療部

平成27年11月18日（水）、この地域の病病連携・病診連携をより一層強化するために、新庄市最上郡医師会との共催により第4回医療連携懇談会を開催しました。

懇談会では、病診連携の一例として、自宅から当院へ救急搬送され、加療後に自宅退院し、地域の先生からフォローしていただいている患者様に関して、地域包括ケア病棟におけるチーム医療の実践について、当院の退院支援看護師、管理栄養士から発表があり、改めて地域の先生方との連携の大切さを感じました。

また、前回（昨年度）に引き続き、歯科の先生からも御参加いただきました。当院では新庄地区歯科医師会と連携し、地域の歯科医の先生方から当院入院中の患者様に対して歯科口腔ケアの往診を実施していただいております。



今回の懇談会では、「より顔の見える関係作り」を進めるため、昨年度以降に当院へ赴任した医師による自己PRをはじめ、参加した地域の先生方から一言いただく場を設けさせていただきました。地域の先生方の地域医療に対する日頃の思いや懐かしい思い出話等があり、終始和やかな雰囲気での懇談会となりました。

多忙を極め、日常的に大きな緊張感に包まれている先生方にとっては、ほんのひととき、ホッと時間を共有出来たのではないのでしょうか。



地域の先生方、御参加いただき、ありがとうございました。



4. 感染制御チームの紹介

院内感染対策予防対策委員長 廣野 撰

感染制御チーム（ICT）を御紹介します。ICTとは、院内感染予防対策委員会の下部組織として院内感染対策の中核となり、院内各部署の感染症の発生状況や感染対策の実施状況を把握するための組織です。機動力を発揮して、未然に院内感染を防ぐことを目的にした、謂わば「感染対策における実働部隊」です。ICTは、院内感染予防対策委員長が任命したリーダー及び研修を受けた委員（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員）で組織されており、業務に当たっては、当院が最も得意とする「多職種連携によるチーム医療パワー」が遺憾なく発揮されます。所掌業務は、(1)発熱患者のカルテ回診と適切な治療方針の推奨(週1回)、(2)環境整備を目的とした院内抜き打ち巡回(週1回)、(3)感染防止対策の実施状況の把握と指導、(4)感染の発生率に関するサーベイランスの実施と評価、(5)院内感染予防対策委員会への報告、(6)研修会等を通じた職員への教育、等、多岐にわたります。

当院におけるカルバペネム系抗生剤の使用密度は、国内同規模病院の1/5程度に抑えられています。地域内でノロウイルスの流行がみられた時期に、全部署に「日勤終業時の次亜塩素酸ナトリウムによる環境清拭(1ヶ月間)」をお願いした結果、一時的に院内からは、ノロウイルスのみならず耐性菌(MRSA等)も消えてなくなりました。病院を愛する全職員の献身的な支えにより、この数年間、当院では目立った院内感染の流行がないことを特筆します。

ICTは、尾花沢病院、鶴岡市立荘内病院、日本海総合病院と、定期的なカンファレンス及び相互チェックを行い、感染予防対策能力を高めるべく不断の努力を重ねています。今後は地域内の病院、診療所、施設等とも連携し、「管内全体での感染症データの共有と予防対策の策定」に繋げていきたいと考えています。関係各所の先生方、御協力をお願い申し上げます。



5. 認定看護師活動報告

がん化学療法看護認定看護師 庄司 優子

新庄病院には、皮膚排泄ケア認定看護師、緩和ケア認定看護師、感染管理認定看護師 2 名、がん化学療法看護認定看護師の計 5 名の認定看護師が活動しています。

ところで、認定看護師って？と疑問に思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。認定看護師 (Certified Nurse) は、日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者を言います。認定看護分野は 21 分野あり、全国に 15,935 人の認定看護師がいます。詳しくは日本看護協会 (www.nurse.or.jp) をご覧ください。

さて、当院の認定看護師は、それぞれ (皮膚排泄ケアは褥瘡対策予防チーム、感染管理は ICT、緩和ケアとがん化学療法看護は PCT) でチーム医療を行っています。また、年数回各分野の研修会を開催し、CN 通信という機関紙を発行し院内に掲示しています。

院外にも対象者を拡大し「がん看護研修」を行っています。もしかしたら、「私、受講した。」という方もいらっしゃると思います。今年度は開催時間を 1 日として、年 4 回開催しております。今年度は既に終了しましたので、がん看護に興味のある方は、是非、来年度受講してください。

C N 通信

Certified Nurse

平成 27 年度 第 1 号

第 1 回 認定看護師会主催の研修会開催

8 月 4 日 (火) に、今年度 1 回目となる認定看護師会主催の研修会を開催しました。今回は、がん化学療法看護認定看護師の庄司主任が担当し『研修会&ケアカフェ』ということで、お茶やお菓子をいただきながら、DVD を視聴しました。テーマは「口腔ケア」です。

研修会&ケアカフェ

日時 平成 27 年 8 月 4 日 (火)
17:30 分～19:30 分

会場 C 棟 3 階 第 3 会議室
対象 院内看護部

内容 DVD 上映による研修会
認定がん化学療法看護ケアと食事の工夫、
ケアカフェ……DVD を見ながら、一緒にお茶
を飲みましょう。

DVD: がん化学療法看護認定看護師会

研修内容

- * 化学療法を始める前の歯科受診は、感染症、口腔粘膜炎などの予防や緩和に非常に重要です。
- * 口腔ケアのポイントは保湿と保湿!
- * ロから食事を食べることは唾液の分泌を促し口腔内の衛生を保つメリットがあります。
- * 副作用がある時の食事の工夫などについて DVD で学習しました。

今回の DVD は化学療法室にありますので、見たい方は化学療法室までお問い合わせください。

平成 27 年度がん看護研修会を開催いたします!

今年で 5 回目となるがん看護研修が 9 月からはじまります。今年から 1 日研修とし年 4 回実施することになりました。治療期から終末期に伴う苦痛に対するアセスメント方法や症状緩和に対する知識・技術等、実践で活用できる研修を目指しています。8 月 20 日まで参加申し込みを受け付けています。興味のある方は緩和ケア認定看護師 齊藤 (PHS 8585) まで、ご連絡ください。

担当 金田





6. がん患者サロンの紹介

がん相談支援センター がん相談員 渡辺千代子



みなさんは「がん患者サロン」を御存知でしょうか？

県立新庄病院は、地域がん診療連携拠点病院として「がん相談支援センターの業務である医療関係者と患者会等が共同で運営するサポート活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援」が求められています。また、日々の相談業務の中からも、がん患者さんとその御家族に対する精神面を中心としたケアの充実や情報提供や学び合いの場の提供や支援等の必要性を実感しておりました。

そこで、当院では、平成27年11月から、がん患者さんと御家族の方々がほっと一息つける場として「がん患者サロン」を開催しております。

12月8日(火)は「スープで元気に」をテーマに当院管理栄養士から、スープのお話と「にんじんポタージュ」「しょうが清汁」「鳥肉団子入り中華スープ」等のレシピ紹介がありました。シチューの素やスープの素等市販されているもので簡単に美味しくできる工夫や、特に「にんじん」は「油」と一緒にとることで、より栄養を体内に取り込みやすくするというお話がありました。参加者からは「難しい話かと思っていたが、インスタントを利用したり、油の話もとても気が楽になりました。」「みなさんの話も聞けて色々勉強になりました。また参加したいです。」等の感想がありました。

スープと同じように、心和む「がん患者サロン」になりました。



スープで元気に！

県立新庄病院がん患者サロン（平成27年12月）

山形県立新庄病院がん相談支援センター（事務局）

2015.12.7

がん患者サロン
平成27年度山形県がん患者就労・生活支援事業

性別や年齢は
問いません

**がん患者さんのための
美容に関する相談会**

患者さんだけでなく、ご家族も御相談できます。

事前予約制
(当日でも可)

【日時】 平成28年1月29日(金)13時~15時
【会場】 新庄病院 がん相談支援センター (相談室)

こんなお悩みありませんか？

- 治療の副作用による脱毛が気になる。医療用ウィッグってなに？
- 脱毛し始めた頭皮の手入れの仕方を知りたい。
- 治療を始めたら、肌質が変わった。メイク方法を教えてほしい。

美容に関する専門の相談員がお答えします！

0233-22-5525
(内線1285)

お申込み先 新庄病院 がん相談支援センター

今後の「がん患者サロン」予定

* 時間は0時~12時の予定です。途中入室や退室でもかまいません。
* 講師の都合により変更することもあります

回数	日程	テーマ	講師	場所
4	1月18日(月)	お話し会		相談室
5	1月29日(金) 13時~15時	テーマ 「がん患者さんのための 美容に関する相談会」	薬剤性脱毛サ ポート美容師	相談室
6	2月8日(月)	お話し会		相談室
7	2月17日(水)	お話し会		相談室
8	2月25日(木) 13時~15時	テーマ 「乳がん患者さんの集い」	当院 化学療法認定 看護師	相談室
9	3月8日(火)	お話し会		相談室



7. インフォメーションコーナー

もがみネット情報

平成 28 年 1 月 6 日 (水) から、当院の診療情報についての公開項目を拡大しております。

■今回新たに公開した項目

- 患者基本情報、○入院期間、○アレルギー情報、○病名、○食事、○処方、○注射
- 検査、○検体検査、○プログレスノート（診療録）、○退院サマリ・看護サマリ

■従来から公開している項目

- 放射線画像一般撮影、○3D画像、○CT、○透視画像、○MR
- 心カテ・アンギオ画像、○放射線科レポート、○生理検査、○内視鏡レポート

■「もがみネット」に御参加ください！～未登録医療機関の皆様へ～

「もがみネット」には現在 17 の最上地域の医療機関と山形大学医学部附属病院、日本海総合病院が登録しております。未登録の医療機関の皆様も、是非、もがみネットに御参加ください。
最上地域医療連携推進協議会（事務局：山形県最上保健所）

歯科口腔ケアの往診

当院では、新庄地区歯科医師会の御協力により歯科口腔ケアの往診が可能です。

■往診対象患者

- ①がん治療中で歯科口腔ケアの必要な入院患者
- ②手術前後で歯科口腔ケアの必要な入院患者
- ③誤嚥性肺炎防止のために歯科口腔ケアの必要な入院患者
- ④その他歯科口腔ケアの必要な入院患者

※いずれの場合も、入院中で外出することが困難な患者様に限ります。

お問合せ先：当院地域医療部（TEL：0233-28-7276（直通））

認定看護師による在宅患者同一日訪問看護

当院では、皮膚排泄ケア認定看護師又は緩和ケア認定看護師と最上地域の訪問看護ステーションの看護師が共同して、同日に在宅患者を訪問し、看護・指導を行っております。

■訪問対象患者

- ①悪性腫瘍の鎮痛療法若しくは化学療法を行っている、又は、真皮を越える褥瘡の状態にあり、通院が困難な患者
- ②医療保険で訪問看護ステーションのサービスを利用している患者
- ③最上地域、尾花沢市、大石田町在住の患者

※当院に受診歴がある患者様に限定しておりません。

お問合せ先：当院地域医療部（TEL：0233-22-5525（代））